

かせかけ

Okinawa Prefectural College of Nursing

CONTENTS

○赴任して半年が経ちました……………	2	○サークル活動紹介……………	5
○オープンキャンパス 2010 ……………	2	○大学院G P 国際シンポジウム……………	6
○教員の活動紹介……………	3	○公開講座……………	6
1) 「アルコールと自殺の関連」の研究		○コラム……………	6
2) 中学生への性教育の出前講座やっています		○宮古島での実習に参加して……………	7
○国際交流……………	3	○ハワイ研修に参加して……………	7
○高校訪問大学説明会……………	3	○教職員の動き……………	8
○第 12 回 看大祭 ……………	4	○お知らせ……………	8
○ケアリングG P 学生コンソーシアム紹介 ……	5	○平成 22 年度後半の大学行事 ……………	8
○渡嘉敷島研修を行いました……………	5		





赴任して半年が経ちました

事務局長
大嶺 良 則

8月からの長い夏休みが終わり、10月から学内での講義も始まりました。学内はまた意気軒昂な学生達で賑やかになっています。もちろん、夏休みの間、実習もあり、日々忙しい中、図書館には常に学生が満ち、真剣に勉学に励む姿が印象的でした。本庁にいた頃、病院等にも足を運び、多くの方々から保健・医療について勉強させてもらう中で、医師、看護職など医療従事者の果たす役割、責任の重大さを実感しました。いちばん感銘したことは、命をあずかる・医療に従事する医療関係者としての使命感、責任感の強さです。こ

れは県立病院のみならず、医療関係者はみんながそうであろうと思います。極めて厳しい環境の中で、昼夜問わず頑張っている姿に県民の一人として、感謝です。

このような医療関係者の医療現場での頑張りや厳しい勤務環境がある一方で、医療に対する県民の期待と要求・要望は極めて大きく、強く、厳しいものがあります。

本学学生の皆さんは、このことも理解した上で入学し、またこれまでの経験や実習などを通してより深く実感し学業に励んでいるものと思います。

看護の専門職を目指す学生の皆さん、これからたくさん勉強が必要です。また、新一年の皆さんには、これから、高校生時代の何倍もの勉強が待っています。

本学の学生全員が日々、自己研鑽に励み、将来質の高い看護の専門職者として本県の保健医療の分野で活躍できるよう、保護者はじめ関係者と協力しながら頑張っていきたいと思っています。

オープンキャンパス2010

広報・情報専門部会 井上松代

去る8月7日(土)に開催されたオープンキャンパスには、昨年同様270名もの来場者があり、夏の暑さと甲子園で奮闘している興南高校のパワーに匹敵するくらいの盛り上がりを見せました。例年好評の体験コーナーでは、「血圧を測定してもらう」、「お人形の赤ちゃんでお風呂を入れてみる」、「お腹の大きな妊婦さんになってみる」、「赤ちゃんが出産するときの体勢で狭い産道をくぐり抜けてみる」、「お年寄りの体の変化を体験してみる」など体験者のみなさんは、ドキドキしてみたり、「へえ〜」と驚いてみたり、「何これ〜」と笑ったりと、にぎやかで楽しい雰囲気になっていました。また、ミニ講義の「こころの免疫」と「紫外線と熱中症」や、離島で活躍する看護専門職者の活躍を紹介した「島しょ看護はすばらしい」の新しいメニューを加え、昨年よりも各種コーナーが増え、本学の幅広い看護分野と専門性を数多く紹介することができ、とても充実した1日でした。



教員の活動紹介

「アルコールと自殺の関連」の研究

精神保健看護 宇良 俊 二

みなさんもお存じだと思いますが、日本は12年連続で年間自殺者数が3万人を超えており、昨年度で計算すると毎日平均90名近くの方が自殺で命を失っております。交通事故で亡くなる方が1万人を切っているの、その3倍以上ということになります。ここ沖縄県では毎日平均1名の方が自殺で亡くなっています。ご本人はもちろんのこと、そのご遺族や周囲の方々への影響も考えると、早急な対策が必要です。日本の自殺者の原因を調査したパイロットスタディーでは約7割に精神障害が関連していました。最も関連する障害は気分障害（うつ病）、アルコール依存症、統合失調症といわれています。うつ病に関する自殺予防は多くの研究報告があるのですが、アルコール依存症に関しては、これからの分野です。飲酒に寛容な(?) 沖縄県の自殺予防に向けて、アルコールを切り口とした研究をいたしております。(この活動に関する記事は、沖縄タイムス朝刊平成22年7月12日(月)19面に掲載されました。)

中学生への性教育の出前講座やっています！

母性保健看護・助産 井上 松 代

去る7月9日、松島中学校3年生173名を対象に、教員7名と学生27名が中学校に出向いて性教育出前講座を行いました。3ヶ月前から中学校の養護教諭と連携し、「妊娠・出産・育児」、「男女のつきあい方」、「男女の体と心のちがい」のテーマで、「生徒は希望するテーマの授業を受ける」ようにテーマ別クラス編成をしました。私たち教員が各クラスのファシリテーターとなり、大学生はグループディスカッションのサポート役です。授業では、3kgの赤ちゃん人形の抱っこ、大学生が披露するデートDV（ドメスティックバイオレンス）の寸劇、出産・育児場面のスライドなど様々な工夫をしました。生徒さん達からは「わかりやすかった」、「初めて知ることが多くになった」、「他の仲間の意見が聞けた」などの感想をもらいました。173名の今後の人生に役に立つことを願っています！



国際交流

平成22年度 南米地域母子保健強化コースの研修を行いました！

母性保健看護・助産 賀 数 いづみ

国際交流室運営委員会と地域看護及び母性保健看護・助産の教員を中心に、今年度も南米諸国から12名の研修生を受け入れました。6月21日は「健康教育の指導案作成及び発表」を川崎道子准教授に担当していただきました。24日は「本学の母性保健看護・助産教育」について玉城清子教授の説明後、研修生は「助産学生の授業見学及び参加」をしました。助産学生はスペイン語の簡単な単語を活用して挨拶をするなど、和やかな雰囲気での意見交換が行われました。学生および教員ともに南米諸国の助産師教育や母子保健の現状を学ぶ機会となりました。研修受け入れにご協力いただきました皆様、ありがとうございました。



高校訪問大学説明会

広報・情報専門部会 新城 正 紀

本学の教員が県内の各高校を訪問し、高校生を対象に本学の教育理念、カリキュラムの体系、入学選抜実施要項、卒業後の進路等についての説明会を実施しております。本説明会は、高校生の進路決定の一助になることを願い企画されています。

今年度も4月28日に各高校の校長宛てに説明会の依頼文を発送し、説明会の希望の有無と説明会参加予定の生徒数の回答をいただき、6月15日から9月8日に説明会を開催しました。説明会を実施した高校37校、説明会に参加した延べ高校生580人、高校訪問して説明した本学の延べ教員数41人でありました。



2010/07/22 球陽高校説明会風景

第12回 看大祭

看大祭実行委員長 2年次 宮城保将

第12回看大祭にご来場いただいた皆様、誠にありがとうございました。看護学生、実行委員、教職員、ご協力していただいた企業の皆様、そしてポスターを貼らせていただいた各店舗や各学校の皆様の協力もあり、無事看大祭を終えることができました。本当にありがとうございます。

今年のテーマは「ハイサイ！開催！！人と触れ合う看大祭」に決定し、パンフレットではこのユーモアに不満を持たれる方が出てくることを恐れていましたが、皆様このテーマで喜んでくれたみたいで良かったです。冗談はさておき、本当のところは、来場してくれる皆様に「この学校楽しそうだな」「この学校に行きたいな」「人と触れ合うって楽しいな」と思ってくれるように願いを込めたものでもありました。しかし、実際にそれを実感することができたのは我々学生だったかもしれません。いつもは真剣に勉学に励む学生が人と触れ合うことで笑顔になりながら来場者と話をする姿を見ていると、普段の勉学では経験できないことで、人と接するであろう私たちにとってとても重要なことではないかと思いました。

今年はいろいろなことにチャレンジしました。宣伝用ののぼり作成、ラジオでのPR、そのおかげで1日目は雨だったにもかかわらず、去年よりも多くの来場者数を記録することができました。これも1年生や2年生スタッフが頑張ってくれたことが成功につながったと思います。これを今年だけで終わらせず、来年、再来年までつなげていこうと、各係に呼び掛け文書を作成しています。

最後になりましたが、こうして今年も看大祭が無事に終了できたことに、協力していただいたすべての方々に厚く御礼申し上げます。



ケアリングGP 学生コンソーシアムの紹介！

2年次 大嶺 健一

こんにちは！私たち学生コンソーシアム執行部では、ケアリングアイランド九州沖縄構想のもと、学生による学生のための学びをモットーにした活動に日々取り組んでいます。去る8月14日には、本構想の他連携大学である琉球大学と名城大学と合同で「沖縄地区連携3大学合同学生ゼミナール」を開催しました。この企画を作り上げるために連携3大学の私たち執行部役員は、今年5月から約3ヵ月間に渡って何度も会議を行ったり、時には他大学で泊りがけの研修会を行ったりしてきました。その成果として、学生による「口から食べる喜び」と題した高齢者の嚥下障害についての授業や大学生のピアエデュケーションを成功のうちに終了することができました。その中で、看護系の大学生同士で交流し、他大学の学生の価値観に触れあい、学生同士で学びあいの場を持つことが出来たと思っています。役員同士では、近い将来看護師や保健師として同じ職場で働くかも知れない仲間の輪を広げることも出来ました。

今後も、学内では低学年向け国家試験勉強会や学生向け講演会、学外では連携大学と合同で看護学生フェスティバル等様々な活動を計画しています。私たちは、みんなに学生コンソーシアムの活動に興味を持ってもらい、そして、多くの学生が参加することで、学生コンソーシアムの活動目的をみんなで共有できたらいいなと考えています。私たちが企画する活動に参加してみませんか。私たちの企画は、教育管理棟1階ロビーに掲示してありますので、ぜひ興味のある方はご覧下さい。



渡嘉敷島研修を行いました！

渡嘉敷島研修実行委員長 2年次 岸本 康利

今年の渡嘉敷島研修は、学生70名と教員4名、合計74名の参加がありました。1日目は、学年の違う学生同士と教員との交流を目的に体育館でキン・ボールやパーベキューを行いました。キン・ボールは、初の試みということもあり、うまくいくか不安もありましたが、全員が参加することが出来、予想以上に盛り上がりました。2日目は、海洋研修を通し自然の素晴らしさを1人1人が実感することが出来ました。2日間という短い期間でしたが、いい思い出を作ることが出来たと思います。また、私自身としては、リーダーとしてみんなを引っ張ったことで人として成長出来ました。



平成22年9月2日(木)、3日(金)

サークル活動紹介

性・命の達人キラリサークル

2年次 諸見 知香

私たち「性・命の達人キラリサークル」は、性や命の大切さについてみんなで共に学び・考えることを目的として、1・2年生を中心に発足した創立1年目のサークルです。これまで、マタニティークラスでのボランティア、看大祭でのデートDVや性感染症についての啓発活動の他、様々な活動をしてきました。看大祭から始まった私たちのデートDV啓発活動に対し、那覇市からNPO活動助成金もいただき、近隣大学での啓発活動を展開しています。



国際ソロプチミスト沖縄へのDV被害者支援のための寄付金を集めました

【地域貢献】

大学院GP国際シンポジウム

大学院 GP 取組責任者 神里みどり

平成 22 年 10 月 30 日（土）に大学院 GP 主催の国際シンポジウムを本大学にて開催を致しました。国際シンポジウムのタイトルは「島嶼看護の海へ沖縄から漕ぎ出す」で、グアム大学、テニアン島ヘルスセンター、豪州ラトロブ大学、千葉県立保健医療大学から島嶼看護の教育・実践で活躍している先生方に登壇して頂き、太平洋島嶼地区におけるリーダー育成や実践現場の課題、豪州リモート看護師の高度実践者の育成や本邦における高度な実践と課題について熱く語って頂きました。講演内容は、本大学だけでなく、宮古島教室や離島診療所の看護師などへも遠隔テレビシステムなどを利用して配信しました。総参加人数は、県内外からの参加者を含め 113 名で、参加者の反応も講演後のアンケート結果より「大変良い・良い」と回答したものが約 90% 以上を占めていました。国内外の島嶼看護の環境は違えど共通した現状や課題も見出せ、本邦と比較することで「多様な文化をもつ対象者への支援について学びにつながった」など多くの建設的なご意見が寄せられました。「島嶼看護」のキーワードを通じて、この沖縄から世界へ向けて情報を発信していくことでお互いの交流の輪が広がり、島嶼看護を発展させていく原動力になると感じています。今後とも皆様のご協力・ご支援をお願い申し上げます。



公開講座

■生活習慣病を知ろう

- 第1回 「糖尿病を知ろう」 H22年9月30日(木) 17:00~20:30
 - 第2回 「高血圧を知ろう」 H22年10月7日(木) 17:00~20:30
 - 第3回 「心臓病を知ろう」 H22年10月14日(木) 17:00~20:30
- 場所: 沖縄県立看護大学 視聴覚室(教育管理棟 2F)
講師: 安谷屋 均



■看護に活かす情報ツール活用術-初級編

- 第1回 「パソコンを使った文献検索 医学中央雑誌の活用」 H22年9月7日(火) 17:00~20:00
 - 第2回 「パワーポイントを使ったプレゼンテーション」 H22年9月14日(火) 17:00~20:00
 - 第3回 「エクセルの使い方 単純集計とグラフ作成を中心に」 H22年9月21日(火) 17:00~20:00
- 場所: 情報処理学習室(教育管理棟 4F)
講師: 赤嶺 伊都子、上原 和代、高橋 幸子



コラム 違って見えても、実は同じ!? 実習中、雲から看護を考える

～見て!あの雲、ぞうさん!～

基礎看護 助手 伊良波 理絵

現在、基礎看護実習Ⅱを履修している学生と一緒に、実習先の病院へ通っています。ある日、親御さんと面会に来ていた子に遭遇しました。熱心に窓の外を見つめていたので、こちらもつられて同じ方向を見ました。ところが、雲はたくさん浮かんでいて、私には“ぞうさん雲”が分かりません。さらに、彼は“うさぎ”“クワガタ”等、次々と様々な生き物を発見し、まるで『雲の生き物図鑑』。

ぞう、うさぎ、クワガタ…具体的な形は違います。でも本質はどれも同じ…雲です。

学生は『雲の生き物図鑑』を作成していた子よりも熱心に、初めての受け持ち患者へ、具体的に様々な看護を展開しようと奮闘中です。そして、看護の本質を見極めより良い方向を目指すことができる未来の看護職者でもあります。

未来の看護職者と共に切磋琢磨し、看護の具体も本質も考えなくては…“ぞうさん雲”を探しつつ、そう思った一日でした。

～宮古島での実習に参加して～



3年次 新垣 詩子

離島である宮古島での実習と聞き、初めは不安や緊張でいっぱいでしたが、民泊や、実習先までの送迎など、地域のボランティアの方々の温かい歓迎と手厚いお世話によって、とても有意義な実習となりました。

実習先では、ひとりの利用者と関わりをもち、信頼関係を築いていく中で、その方の生活歴や、現在の生活に対する思い、また病気や健康への考え方など、より具体的に知ることができました。そしてそこから、そのひとの生活の質を高めるために必要なことはなにか、を考えられるということ、今回改めて実感することができました。さらに、職員を含めた日々のカンファレンスや、同じ仲間と情報や考えを共有することで、同じ病気であっても、個人によって性格はもちろんのこと、健康への考え方や感じ方、今の生活に対する思いや価値観などが、それぞれ異なっていることを具体的に知る事ができ、情報を共有することの重要性もまた、今回改めて実感することができました。

最後に、今回、宮古島に暮らすあらゆる方々との交流から、宮古島の特性、歴史など、宮古島でしか得る事のできない多くを学ぶことが出来、私にとってとても大切な経験となりました。今後もこれらの経験を活かし、頑張っていきたいと思います。



3年次 伊禮 南海

伊禮さん：後列左端

成人保健看護実習Ⅱを宮古病院で実施することが決まってから、実際に実習が始まるまでは、宮古島に行くことが初めてということもあり、無事に実習を終えることができるだろうかと不安でした。しかし、宮古病院の看護師を初めとするスタッフの熱心で手厚い指導のおかげでグループ全員が充実した実習を送ることができました。

また、3週間という短い期間でしたが、宮古病院の地域連携室での取り組みや、離島の医療の特徴や現状を学ぶことができました。他にも、社会福祉協議会やボランティアスタッフによる宮古島の歴史や方言講座などもあり、実習だけでなく宮古島について知る良い機会になり、とても内容の濃い3週間をおくることができました。

ハワイ研修に参加して！

3年次 池 根 卓 也

今回の研修は学生が21名、教員2名の大人数での参加になりました。研修は8月22日から9月10日までの3週間で、最初の二週間ではカウアイ島で英語の授業やホームステイ、KCC (Kauai Community College) の看護学生との交流などを行いました。最後の一週間はオアフ島でホスピスの見学やハワイ大学21校でアメリカの看護についての講義などを受けました。

今回、私がハワイ研修に参加したのは将来海外で看護をするということに興味を持っていたからです。今回の研修では生の英語に触れるということが自分の目的であったので積極的にコミュニケーションをとろうと出発前は思っていました。いざ、生の英語を聞いてみると全く聞き取れず、それどころか何を言っているのか理解できずに最初の一週間ぐらいは英語を聞きとることでいっぱいいっぱいとても苦労しました。

でも、みんなとの共同生活はとても充実していました。男三人で一部屋で料理は自分たちで作るということで初めは失敗したりしていたが日が経つごとに上達していることがわかり、料理が少しできるようになったのも今回の研修で成長したなど実感しました。

次に行ったオアフ島ではホスピスを見学してホスピスの意味として自然の流れに身を任せるといったことなどを学んだり、リビングウィルについてや沖縄の移

民の歴史などについて学んだりしてとても勉強になりました。また、フリーの日にはほかのグループと一緒にリムジンに乗って観光したりととてもいい休日を過ごしました。

この研修を通して自身の英語の未熟さを痛感したり、ホームステイで新しい家族ができたり、海外の医療と日本の医療を比べることで日本の医療の良さというものや、相違点などの発見など様々な経験をすることができてとてもいい経験になりました。カウアイではみんな優しく色々とお世話になったのでまた今度旅行で遊びに行きたいなと思います。今ではハワイで出会ったすべての人に感謝しています。



教職員の動き <平成 22 年 9 月> (就任)



助手 糸数 仁美

9月より地域保健看護の助手として着任しました。本学を卒業し、離島での保健師経験の後、大学教育に携わる機会を頂きました。「住民のニーズに寄り添った看護とは？」を学生と共に考え、共に学びながら、離島での保健師活動の楽しさが伝えられたらと思います。未熟ではありますが、よろしくお願ひ致します。



助手 上間 友香

9月より母性保健看護の助手に着任致しました。さっそく助産実習より学生と関わり臨床と教員との指導の違いに戸惑っていますが助言をうけながら頑張っています。私は臨床が大好きなので学生に看護の楽しさを伝えていけたらいいなと思います。どうぞよろしくお願ひ致します。

お知らせ

GP 関連イベント

○学部 GP 「島しょ環境を活かして学ぶ保健看護の教育実践」 成果報告会

日時：平成 23 年 1 月 8 日 (土) 午後 1 時より夕方 6 時頃まで

場所：宮古島市 (ホテルアトールエメラルド)

○大学院 GP 国内シンポジウム

島嶼看護の持続可能なリーダー育成－宮古島アジェンダ 2010－

日時：平成 23 年 1 月 9 日 (日) 午前 9 時 30 分より午後 12 時 30 分

場所：宮古島市 (ホテルアトールエメラルド)

*参加費 無料

“GP”とは Good Practice の略です。各大学がそれぞれの大学の理念の実現に向けて、特色ある、かつ意欲的に、そして全学を挙げて取り組む教育活動に対して、文部科学省が審査した上で、助成金を出す委託事業制度です。沖縄県立看護大学は、この事業に申請を出し、平成 20 年度から平成 22 年度までの 3 年間の企画で、学部 GP、大学院 GP とともに採択されました。

公開講座

○保健・看護の海外論文を読んでみよう－「批判的な読み解き」入門編－

場所：沖縄県立看護大学 教育管理棟 情報処理学習室 (4 階)

日時：平成 23 年 1 月 22 日 (土)、23 日 (日) の 2 日間

いずれも午前 9 時～ 12 時まで

定員：10 名程度

*参加費 2,500 円 (受講時に納付)

詳細は大学ホームページをご覧ください。

<平成 22 年度後半の大学行事>

大学院入試	9 月 11 日 (土)	大学入試センター試験	1 月 15 日 (土)・16 日 (日)
後期授業開始	10 月 1 日 (金)	一般選抜入試 (別科助産専攻)	2 月 8 日 (火)
特別選抜入試 (看護学科)	11 月 20 日 (土)	一般選抜入試 (前期・看護学科)	2 月 25 日 (金)
推薦選抜・社会人特別選抜入試 (別科助産専攻)	11 月 20 日 (土)	一般選抜入試 (後期・看護学科)	3 月 12 日 (土)
卒業論文発表会	12 月 14 日 (火)	卒業式	3 月 15 日 (火)

かせかけとは

琉球古典舞踊女七踊りの一つです。総(かせ)とは紡いだ糸を巻く道具で、総掛けとは布を織る糸をこしらえている様子を指しています。この踊りのように丹念に糸を紡ぎ布を織って着物に仕立てていく、その一途の心と「技術」・「感性」は、「知識」の継承・創出とともに、本学の看護職者を生む育む教育・研究の原点に相通するものであろうと、広報誌の名称にしました。



琉球古典舞踊「かせかけ」に用いる道具

沖縄県立看護大学

〒 902-0076 沖縄県那覇市与儀 1 丁目 24 番 1 号

TEL (098) 833-8800 (代表) FAX (098) 833-5133

<http://www.okinawa-nurs.ac.jp>

■編集 沖縄県立看護大学 / 広報・情報専門部会

■発行 2010 (平成 22) 年 11 月 30 日